

自由主義・国民主義(2)

[アメリカ]

1812 戦争 **合衆国の発展**
 ~14 ★意義 経済的自立が強化
 1819 スペインより 買収

1820 協定
 北緯36° 30' 以北は自由州
 1823 宣言
 { ヨーロッパとの相互不干渉
 合衆国の外交政策の基本

1829~37 大統領
 (西部出身)

{ 民主主義の発達 ジャクソ
 ニアン= デモクラシー
 政党の成立

西部開拓

・ の西漸
 インディアンの土地収奪

1845 カンザス= ネブラスカ法
 1845 を併合(墨より)
 1846 を併合(英より)
 1846 戦争
 ~48 を獲得
 1848 ゴールド= ラッシュ(加州)

南部と北部の対立激化

★内容
 1852 夫人の『 』
 1854 党の結成
 奴隷制をめぐる対立激化

1860~65 大統領(共和党)
 1861 南部は を建国

南北戦争

1862 法 ★意義
 1863 宣言★背景
 1865 南部首都 陥落
 1867 買収(露より)
 1869 の完成

《黒人への人種差別残る》
 K. K. K. 団, シェアクロッパー制

《西部開拓の急速な進行》★原因
 土地を奪われ, 追われる

《アメリカ工業の飛躍的発展》
 ★原因

1886 アメリカ労働総同盟()
 (職能別組合) 結成

《1890年に 消滅》
 《1890年代より帝国主義時代に》

[イタリア]

政治的分裂 { 北) 諸侯国
 (中) 教皇領
 (南) ナポリ王国
 (統一をめざす秘密結社)
 1820 党の反乱失敗
 (ナポリ革命)

自由主義的統一運動

1830 カルボナリ党の反乱失敗
 1831 党の結成
 指導者

サルディニアの統一運動

1848 サルディニアの統一運動
 1849 国 ⇨失敗
 マツィーニ建国⇨失敗

【ヴィットリオ= エマヌエレ2世】

首相 49 ~61

1855 戦争参戦

1858 プロンビエール密約
 (仏の と

1859 戦争★経過

1860 併合

1860 青年イタリア党
 が 王国を征服し献ず

1861 の成立

1866 戦争

1870 普仏戦争で を併合

統一実現

『 のイタリア』

・ ,

★統一運動の性格

★統一後のイタリア国家の特徴

[ドイツ]

1815 ウィーン会議の結果
 政治的分裂 { 連邦の成立
 35の領邦4自由市
 1817 の運動

1834 の成立()除外
 経済的統一の前進
 ★歴史学派経済学の

自由主義的統一運動

1848 三月革命 {
 ・ 追放★経過
 1848~49

→★目的 { 大ドイツ主義 }
 主義 対立
 統一に失敗。自由主義の退潮

プロイセンの統一運動

【ヴィルヘルム1世】 61~88
 宰相

・ 政策で統一推進

1864 デンマーク戦争★獲得地

1866 戦争

1867 連邦の成立

1867オーストリア= 帝国

1870 戦争 成立

1871 の成立 統一実現

1873 三帝同盟

★外見的立憲政治

★内政, 外交

1871~80 闘争★内容, 性格

1875 党の成立

1878 法 ★背景

社会政策の実施

1882 同盟 独 ,

★目的

1887 条約

【ヴィルヘルム2世】 89~1918

1890 ビスマルク辞職—皇帝親政

★背景

《1890年代より帝国主義に》
 大海軍の建設へ

[ロシア]

1815 ウィーン会議に
 【アレクサンドル1世】 01~25
 後進性 { を提唱
 の専制政治
 強固な 制
 地主貴族の支配

1825 の乱
 【ニコライ1世】 25~55
 反動政治
 南進策 ★原因

東方問題

1831 第1次
 ~33 ★原因, 結果

1839 第2次
 ~40 ★経過, 結果

《産業革命の進行》

農奴蜂起の激化

1853 戦争に敗北
 ~56 パリ条約 ★背景, 原因
 【アレクサンドル2世】 55~81

上からの改革

1861 令★背景, 性格
 地主本位, 農民の窮乏
 ポーランド反乱を機に反動化

下からの改革運動

・ の運動 ★性格
 ↓ { 中心は
 標語は “ ”
 (虚無主義) へ
 テロリズムへ

1877 戦争★原因

・ 条約

1878 会議(条約)

★内容 南進策の挫折

1881 アレクサンドル2世の暗殺

【ニコライ2世】 81~1917

1891 同盟 仏資本の導入

1891 シベリア鉄道の起工

《近代工業の発達》